

第1学年〇組 生活科学習誘導案

教諭 日永田 政士

単元 もうすぐ 2年生

(本校教育課程 生活科単元 第9項 1月下旬～2月下旬 10時間)

「単元の問題」を提起する根拠

○ 子どもの興味・関心の実態

本学級の子どもは、「漢字がきれいに書けるようになったよ。」や「鉄棒で前回りができるようになったよ。」などと、以前は上手にできなかったことができるようになったときに、進んで教師に伝えてくる姿が見られる。その他にも、自分がんばったことを家族や友達に褒めてもらってうれしかったことや自分が友達や家族に感謝されたことなど様々なことを発言する姿が多く見られる。そのような発言の中には、「困っている友達に優しく声をかけることができるようになった。」などと、心の成長に気付き始めている子どももいる。また、日常の生活の中でできるようになったことを記録している「できたよカード」を順に並べて友達と見せ合ったり、数を数えたりしている姿や「ぼくも同じことができるようになったよ。」と自分のカードと比べる姿も見られる。また、「もっとできるようになったことがあるよ。増やしたいな。」「友達にぼくのできるようになったことを伝えたいな。」と発言するなど、自分の成長に気付き始め、自分の成長を伝えることへの関心が高まってきている。

○ 子どもの能力の実態

本学級の子どもは、自分ができるようになったことについて、「漢字を書くことができるようになった。」「長縄を跳ぶことができるようになった。」など目に見えて分かることについては、自覚しつつある。しかし、できるようになったことが増えたこと、思いやりや我慢する心などの内面的な成長に気付いたり、自分の成長を支えてくれた人々の存在に気付いたりしている子どもは少ない。

学び方については、単元を通して対象へのかかわりを深め、自分が気付いたことを生活科のふり返しカードに書いたものを紹介し合い、友達と比べて自分との違いに気付いたり、同じところを見つけて共感したりすることもできるようになってきている。しかし、友達と伝え合う中で新しい視点から気付いたり、友達の経験を自分に置き換えて考えたりすることができる子どもは少ない。

○ 社会からの要求

内閣府によると、諸外国と比べて、学力的には高いものの、うまくいくかわからないことに対し意欲的に取り組むという意識が低く、つまらない、やる気が出ないと感じる若者が多いという現状がある。一方、自己肯定感が高い若者の特徴をみると、家族関係、学校生活、職場生活が充実し、満足している若者ほど、自己肯定感が高いという現状がある。このような現状の中、小学校の段階において、「自分はこんなことができるんだ。」と肯定的な自己認識をもち、自分自身に対する自信を深めることや意欲的に生活しようとすることは、とても重要であると考え。様々な面から自分の成長を見つめ、自分の成長や可能性に気付きながら、2年生に進級する期待と意欲を高め、さらに意欲的に学校生活を送ろうとするようになることは、将来を前向きにとらえ、意欲的に生活していく上で大変意義深いものである。

○ 教科系統上の要求

本学級の子どもは、これまでに、生活科をはじめとする教科や学校行事などにおいて、友達や上級生、教師や家族などのかかわりを深めながら成長してきている。また、家族のために自分にできることを考え、家庭で取り組み、できるようになったことを実感する学習をしてきている。そこで、入学してから今までの自分の成長をふり返し、自分の成長に気付き、2年生に進級する期待と意欲を高め、意欲的に学校生活を送ろうとする学習をする。この学習は、第2学年における、生まれてから今の自分までをふり返し、自分の成長を支えてくれた人の存在や思いに気付き、その人たちに感謝の気持ちや成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする学習へと発展する。

単元の問題

にゆう学してから これまでの ぼく、わたしの キラリや 2年生で がんばる ことを見つけて しょうかいしよう。

- ぼく、わたしの キラリを 見つけよう。
- ぼく、わたしの キラリを しょうかいしよう。
- 2年生になって がんばることを しょうかいしよう。

目 標

＜知識及び技能の基礎＞

- 自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことや家庭や学校で役割が増えたことなど、自分の成長に気付いたり、自分のよさや可能性に気付いたりすることができる。

＜思考力、判断力、表現力の基礎＞

- 過去の自分や生活をふり返ったり、現在の自分と比較したりして、自分の成長を具体的に考え、カードにまとめたり、自分なりの方法で伝えたりすることができる。

＜主体的に学習に取り組む態度＞

- 自分の成長に関心をもってふり返り、自分の成長を喜んだり、2年生への期待感をもったりして、意欲的に生活しようとする。

誘 導 の 着 眼

【着眼1】 繰り返しかかわりたくなる学習材

（1） 自分の成長をたくさん見つけようとする教材の開発

自分の成長をたくさん見つけようとする思いをもつことができるように、カードを一枚の模造紙にまとめた「ぼく、わたしのキラキラシート」を教材として開発する。このシートは、一年間をふり返り、「ぼく、わたしができるようになったこと」を中心に、カードにまとめ、1枚の模造紙に貼り付けていくことで、できるようになったことが増えたことが視覚的に分かる。また、できるようになったことに気づき、子ども同士で伝え合い、認め合うことで、自分のよさに気付くことができるものである。

（2） 活動が連続・発展する単元構想（※ 次ページ参照）

自分の成長を「キラキラシートにまとめたい。」という思いをもつことができるように、入学してからの生活暦や写真を掲示しておき、子どもの姿を称賛・価値付けを行う。また、教師の作成したシートを生活科コーナーに掲示する。また、朝のスピーチタイムなどを活用して、一年間の思い出やがんばったことなどを紹介する活動を位置付け、子どもが話したことについて称賛・価値付けを行う。子どもが、自分の成長を見つけようとする意欲が高まったところで、入学したときの自分と比べてふり返る活動を位置付ける。さらに、2年生に向けての生活の意欲をもつことができるように、2年生の学習や生活の写真を提示したり、様子を観察したりする活動を位置付ける。

子どもが、主観的、客観的に自分の成長に気づき、2年生に向けての意欲を高めることができるように、子どもの「入学したときと比べて、できるようになったことがあるよ。紹介したい。」という思いから、「もっと他にもできるようになったことや分かるようになったことはないかな。」と繰り返し自己の成長を自分で見つける活動と、「もっと成長したことがあると思うよ。友達やお家の人にも聞いてみよう。」と他の人に尋ねて見つける活動を位置付ける。さらに、新一年生との交流会をふり返り、2年生になる自分について考える活動を位置付ける。

【着眼2】 学び合いへの支援

気づきの質を高めることができるようにするために、以下の支援をする。

- 場の構成や伝え合い活動の形態の工夫
- ポートフォリオシートを活用して気づきを可視化したり、効果を考えた言葉かけ（受容・共感、励まし、称賛・価値付け、問い返し、示唆、情報提示、揺さぶり）を行ったりする。

効果	類別	具体的な言葉かけの例
活動の意欲を高めたり、継続したりする。	○ 受容・共感	「なるほど。」「いい考えだね。」
	○ 励まし	「これからもがんばってね。」
	○ 称賛・価値付け	「繰り返し取り組み、できるようになったところがすごいね。」 「自分のよいところに気付いているところがよいですね。」
成長やその要因を自覚する。	○ 示唆	「みんなにやって見せたらどうかな。」
	○ 問いかけ・問い返し	「どうして○○できたのかな。」 「○○くんのどんなところがすばらしいのかな。」
思考を再構築する。	○ 揺さぶり	「もう十分成長しましたね。」

【着眼3】 活動の楽しさを味わう教育的瞬間の見とりと対応

子どもが達成感や充実感を味わうことができるように、活動中の子どもの姿を即興的に見とり、発問したり、話し合う場を設定したり、情報の提示をしたりする。

【着眼1】(2) 活動が連続・発展する単元構想 (総時間数10時間+課外)

	主な学習活動	教師の手だて	予想される子どもの反応	評価の規準と観点
出会う・見通す	1 入学してからこれまでの生活をふり返り、「4月のころから変化したこと」「2年生の様子」を伝え合い、本単元を設定する。 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の学校生活の写真を基に、変化したことを伝え合う活動を位置付ける。 ○ 2年生の日頃の生活の写真を提示したり、学習の様子を観察したりする活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月と今では、どこがどのように変わったのかな。 ○ できるようになったことがたくさんあるよ。「キラキラシート」にまとめて友達に紹介したいな。 ○ 2年生は、すごいな。ぼくたちは、どんなことをがんばったらいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間をふり返り、楽しかったことやできるようになったことなどを見付けようという意欲を高めている。 (主体的に学習に取り組む態度)
<p>中心問題 にゆう学してから これまでの ぼく、わたしの キラリや 2年生で がんばる ことを見つけて しょうかいしよう。</p>				
挑む	2 できるようになったことや分かるようになったことをカードにまとめる。4 (1) 写真や学習カード等を基に自分の成長をふり返り、カードにかく。② (2) 家族や友達にインタビューして自分の成長を見つける。課外 (3) 紹介の方法を考える。②	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習の写真や学習カード、行事の写真などを提示する。 ○ 家族や友達にインタビューする活動の設定 ○ 記述した内容に問い返したり価値付けたりする。 ○ 紹介方法を話し合う活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学してから今までにいろいろなことがあったね。前と比べると成長しているよ。 ○ もっと見つけたいな。どうしたらよいな。 ○ 家族にインタビューしたら、たくさん見つかったよ。うれしいな。 ○ ぼくの成長は、すごいよ。みんなに紹介したいな。どうやって紹介しようかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の成長について、絵や言葉で表現している。 (思考・判断・表現)
<p>分析問題2 ぼく、わたしの キラリを しょうかいしよう。</p>				
	3 自分の成長について友達と伝え合う。 (本時2/2) 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成長を伝え合う活動を設定 ○ 成果の過程を問いかけたり、称賛したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ぼくの一番伝えたいことはこれだよ。やって見せるよ。 ○ みんなにほめてもらってうれしいな。ぼくのよいところが分かったよ。 ○ もっとがんばりたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の成長について、自分なりの方法で伝えている。 (思考・判断・表現) ○ 自分のよさに気付いている。 (知識・技能)
<p>分析問題3 2年生に むけて がんばる ことを しょうかいしよう。</p>				
生かす・広げる	4 2年生になってどんなことがあるかを知り、自分ががんばることを考える。1+課外 5 2年生になってがんばることを伝え合い、本単元をまとめる。1	<ul style="list-style-type: none"> ○ たてわりの2年生の子どもや先生にインタビューする活動を位置付ける。 ○ 2年生に向けてがんばろうと思うことを友達と伝え合う活動を位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生では、どんなことがあるのかな。どんなことをがんばろうかな。 ○ みんなに紹介したいな。 ○ これからもっとがんばろうという気持ちになったよ。2年生になってもがんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生になってがんばることを考えている。 (思考・判断・表現) ○ 今後、さらに成長できる自分に気付き、2年生に向けて、生活に自信や期待をもっている。 (主体的に学びに向かう態度)

(1) 主眼

写真や具体物等を使って、がんばったことやすごいところを伝え合う活動を通して、自分の成長について自分なりの方法で伝えることができるとともに、自分のよさに気付くことができるようにする。

(2) 本時における学びに没頭する子どもの姿

具体物や表現物を使って自分の成長を進んで伝え合い、友達の称賛から、自分のよさを再思考して考え、自覚している姿。

(3) 準備

これまでの自分についてまとめたもの、ふり返しシート

(4) 展開

学習活動と子どもの意識	誘導上の留意点（○）と評価（※）
<p>1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>入学してから今までにできるようになったことやわかるようになったことをたくさん見つけたよ。みんなにぼくの一番できるようになったことを知らせたいな。</p>  </div>	<p>前時の学習から、自分の一番伝えたい成長を見つけており、そのことを伝えたいという思いをもっている。そこで、活動の見通しをもつことができるように、前の自分と比べながら紹介する視点や自分と比べながら聞く視点を確認する。</p>
<p>ぼく、わたしの キラリを しょうかい しよう。</p>	
<p>2 写真や具体物等を使って、自分の一番伝えたい成長を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実演 ・ 紙芝居 ・ クイズ ・ つくったものを見せる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の成長に、興味をもって伝え合うことができるように、紹介の内容や表現の仕方を異質にしたグルーピングをする。 ○ 成長した自分についての自覚が深まるように、「どうしてできるようになったのか。」成果の過程を問いかけたり、子どもの表現の仕方や表現内容を価値付ける。 ※ 自分の成長について、自分なりの方法で伝えていく。（思考・判断・表現）
<p>・ グループで伝え合う。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>ぼくは、どろだんごをつくることができました。またつくってみたら、こんなにピカピカのどろだんごができました。とてもうれしかったです。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>どうやってつくったのですか。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>〇〇君に、石を削って色をつけることやさら土をかけるとつるつるになることを教えてもらってつくりました。見てください。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>すごいです。わたしもまたつくってみようと思います。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>わたしは、ピアノが上手になりました。弾いてみせるので聴いてください。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>どうして、そんなに弾けるようになったのですか。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>最初は嫌だったけどたくさん練習しました。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>とても上手なので驚いたよ。他にはどんな曲が弾けますか。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>わたしは、「ていねいに」に気を付けて漢字がきれいに書けるようになりました。見てください。先生やお母さんにも褒められてとてもうれしかったです。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>漢字を丁寧に書くことができずいいなと思いました。ぼくもまねをしてみようと思います。</p>  </div> </div>	
<p>3 ポートフォリオシートにふり返しを書き、伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今日、漢字が上手に書けるようになったことを紹介しました。友達からたくさん褒められて、がんばってよかったと思いました。ぼくのいいところが増えました。これからもがんばりたいです。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今日、ぼくは、ぴかぴかのどろだんごをつくるできるようになったことを紹介しました。友達が「すごい。」と言っていて、やっぱりぼくのどろだんごはすごいんだと思いました。今度一緒に遊んでみたいと思いました。</p>  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達に褒めてもらったことや感想を言ってもらったことから、自分のよさに気付くことができるように、ポートフォリオシートに再度考えた自分のよさやふり返しを書く活動を位置付ける。 ※ 自分のよさに気付いている。（知識・技能） ○ これからの生活への意欲を高めることができるように、さらに自分のよさを生活に生かしていこうとしている子どもを称賛し、価値付ける。